

## No.1887

10月20日例会 プログラム 「米山月間に因んで」 米山記念奨学会委員長 福森 国雄

10月27日例会 プログラム 「昔の趣味(相撲観戦)」 近藤 勇進君

10月20日のメニュー ・岡山のバラ寿司 ・おこぜのから揚げ ・お刺身(甘エビ、イカ) ・ミニざるそば ・コーヒー

## 前回(10月13日)例会記録

出席報告	会員総数	40名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	27名	欠席者数	11名	出席率	71.05%	前回補正率	-
	前回補正者	-								
	欠席者	藤原君 花岡君 井上君 近藤君 仲田君 中山君 難波君 大久保君 島田君 山田(次)君 山田(孝)君								

来訪者 難波 加恵様 (GSE 派遣メンバー 玉野総合医療専門学校 作業療法学科専任教員)

### 会長挨拶

こんにちは。例会出席ありがとうございます。お客様を紹介いたします。GSE 派遣メンバーの難波 加恵さんです、ようこそいらっしゃいました。9月29日の例会の時にお話ししました安倍総理ですが、国際情勢が緊迫してきました。前回は大丈夫でしょうかと心配していましたが、今回はそんなことは言っておれません。きちっとした対応をお願いします。皆で応援しましょう。以上簡単ですが、会長挨拶といたします。

### ビジター挨拶 難波 加恵様

先日、米子で GSE のメンバーの方々とお会いすることが出来ました。今後勉強しなければとの思いを一層強くしました。よろしくをお願いします。

### 幹事報告

- ・新宮ガバナー事務所より 2005-2006 年度第 10 グループ白石ガバナー補佐宛に、昨年度の活動に対して地区大会にて感謝状授与の案内が届いております。
- ・ロータリークレジットカード加入促進のための申込状況について調査をさせていただきます。
- ・地区大会の登録料 1 万円のうち、個人負担分 5 千円を集めさせていただきます。
- ・地区大会に GSE 派遣メンバーの難波 加恵さんも参加されますので、29 日出発の方々の乗り合わせについて調整中です。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧します。

### 10月6日理事役員会議事録

- ・11月11日より開催の「玉野みなと芸術フェスタ 2006」への協賛金の依頼について 了承、昨年通り 1 万円。
- ・12月3日開催予定の「第 17 回たまの人形劇フェスティバル」後援の依頼について 金額について見直し。

### 委員会報告

- ・玉野 RC 創立 40 周年記念式典実行委員会(藤田委員長): 本日例会後、日程を決めたいので、委員の方はお残り下さい。

### スマイル・ボックス

- ・富永君 - 三宅(保)さん、デンファレありがとうございます。白石さん、ふぐの美味をありがとう。岸本さん、大分のゴルフお世話になりました。ミニハイロー会 NET80 で優勝しました。宮原さん、松尾先生運転ありがとうございます。
- ・藤田君 - 大きな物件成約出来ました。ミニハイロー会で白石さん、近藤さんお世話になりました。馬券 2 日も当たりました。
- ・東川君 - 大分遠征ミニハイロー会で岸本さん、白石さんほか皆さんにお世話になりました。ハーフ 43 が出ました。たくさんの方より大枚を頂戴しました。ありがとうございます。10月5日の歓送迎会で渡辺先生、立石さんにお世話になりました。結婚記念月。
- ・岸本君 - 腹の立つミニハイロー会ではお世話になりました。ジャンパーを頂きました。
- ・松尾君 - ミニハイロー会お世話になりました。

- ・白石君 - 九州ミニハイロー会楽しくやりました。 ミニハイロー会 1日目2位、2日目3位で賞金を頂きました。
- ・谷口君 - 白石さん、大分ではお世話になりました。
- ・林君 - 結婚記念月。 前回欠席。
- ・松王君 結婚記念月。 歓迎会の御礼。 ジャンパー代として。
- ・羽賀君 - 歓迎会ありがとうございました。 ジャンパー代として。
- ・緋田君 - 本日早退。
- ・高橋(秀)君 - 本日早退。
- ・三宅(照)君 - 本日早退。

## プログラム 「百人一首と平安中期女流文学」 小野田 元男君

百人一首 50番までを誦んじて披露した後、51番からは主に女性の歌を詠んで解説。

- ・かくとだに えやはいぶきの さしも草 さしも知らじな もゆるおもひを  
こんなに貴女を愛して燃え上がっているのに、貴女には分かってもらえないだろうという恋の歌
- ・明けぬれば 暮るものとは 知りながら 猶恨めしき 朝ぼらけかな  
平安朝では通い婚。夕方女の元へ行っては朝帰る。雪の降る朝、とぼとぼと帰る道すがらの気持ちを歌った。
- ・なげきつつ 独りぬる夜の あくるまは いかにか久しき ものとかはしる  
蜻蛉日記の作者、藤原道綱の母の歌。蜻蛉日記は藤原兼家との結婚生活 21年の日記であるが、後の源氏物語、枕草子に影響を与えたという。兼家への返歌として、訪ねてくれないことを嘆いて夜明けまで待つのは辛いと枯れかけた菊を添えて送ったという。私(小野田)はそんなところが好きになれない歌だ。
- ・忘れじの 行く末までは かたければ 今日をかぎりの命ともがな  
後の一条天皇の後になった藤原定子の母、儀同三司母の歌。貴女のことは忘れたいと言ってくれたけれど、いつまでもそう思ってくれるのは難しいことだ。それならいっそ忘れたいと言ってくれた今日死んでしまいたい。
- ・滝の音は 絶えて久しく なりぬれど 名こそ流れて 猶聞こえけれ  
た、た。な、な、な、な。韻を踏んでいるのが面白い。
- ・あらざらむ 此の世の外に 思ひ出に 今ひとたびの 逢うこともがな  
和泉式部日記を書いて、後の世に名を残した、平安朝で一番恋多き女性として有名な和泉式部の歌。
- ・巡りあひて 見しや夫れとも わかぬまに 雲がくれにし 夜半の月かな  
超大物の登場。紫式部、1050年前に書いた世界初の長編恋愛小説、源氏物語の作者。この歌は単純な歌。なじみにめぐり逢ってちょっと話をし、誰か分からぬうちにお月さんと一緒に消えていったという歌。  
・・・源氏物語のさわり紹介・・・
- ・有馬山 みのな 笹原風ふけば いでそよ人を 忘れやはする  
貴方は私が忘れたと言ってるけれど、本当は貴方が私を忘れたのではないですか。紫式部の娘、大式三位の作。この人も源氏物語と似たような小説「狭衣物語」全4巻を書いている。
- ・安らばで 寝なましものを 小夜更けて かたぶくまでの 月を見しかな  
赤染衛門、一条天皇の中宮定子に仕えていた女性。栄華物語の作者といわれる。
- ・いにしへの 奈良の都の 八重櫻 けふ九重に 匂いぬるかな  
一条天皇の元に仕えていた彼女が、奈良から届いたばかりの八重桜を見て歌を求められた。九重とは宮中のこと、八重、九重と即興に歌った。
- ・最後に随筆集枕草子を書いた清少納言。清少の清は清原のこと、元々は清原の式納言と言っていた。同じように紫式部は元々は藤原式部、藤は紫ということから紫式部と言われるようになった。  
枕草子「春はあけぼの」の一節を暗誦して卓話を締めくくった。  
(メモを全く見ないでの卓話、記憶力の若さに驚嘆しました)